



一般財団法人 山口県老人クラブ連合会〔きららシニア山口〕

きららシニア山口

★平成29年度 シニア活躍！地域支援担い手育成事業 実践モデルクラブの活動紹介
★地域で活躍！シニア社会貢献活動推進事業の実施・モデル老人クラブの実践報告
★市町老連若手代表者会議の報告

Vol. **106**

平成30年3月31日発行



【写真】平成29年11月14日(火) 文化活動交流会 in 下松

●●● 目次 ●●●

ねんりんピック山口2017（山口県健康福祉祭） 「文化活動交流会in下松」を開催しました。……………	1
シリーズ 実践モデルクラブの活動紹介……………	2～3
仲間と絆を深め地域で活躍！ シニア社会貢献活動推進事業 モデル老人クラブの実践報告…	4～5
市町老連若手代表者会議の報告……………	6～7
第29回老人クラブ女性リーダーセミナーに参加して……………	8
第46回全国老人クラブ大会in京都に参加して……………	9
第23回在宅福祉を支える友愛活動セミナーに参加して……………	10
シリーズ わがまちの老人クラブ……………	11
サロン紹介……………	12
平成30年度一般財団法人 山口県老人クラブ連合会 事業計画概要 ……	13～14
老人クラブ会員向け3つの保険紹介……………	15
「憩いの家」指定施設の紹介 ……………	16



皆様のご寄付により活動しています。

ありがとう

赤い羽根共同募金

新
村おし町おし運動

～高齢者が高齢者を支える地域(まち)づくりをめざして～

ねんりんピック山口2017（山口県健康福祉祭）

「文化活動交流会in下松」を開催しました。

老人クラブをはじめとする高齢者グループが、11月14日（火）、スターピアくだまつ（下松市文化会館）において、健康づくりや生きがいづくり、社会貢献活動参加の促進を目的とした活動を発表しました。

◇開会式◇

下松市老連 六反弘道会長の開会宣言により開会し、県健康福祉部 岡紳爾部長、県老連 西川三代子会長の主催者挨拶に続き、開催地である下松市の國井益雄市長、下松市議会 浅本孝議長より御祝辞をいただきました。

◇ステージイベント◇

開会式後の午前11時から、ステージイベントを開幕。普段はなかなか見ることができないマジックや日本舞踊、コーラスなどの16団体が出演し、日頃の活動の成果を披露しました。



ステージイベントを観覧された方から「お年を

重ねられても、とても輝いていた。」「とても楽しかった。」「どのクラブの皆さんも、いきいきとされていた。」「などの声をいただき、出演された皆さんの元氣とパワーを届けることができました。



◇出演団体一覧◇

市町名	出演団体	出演内容
宇部市	小羽山銭太鼓	銭太鼓演奏
	スズ力健康教室	ジャズダンス
	「伝統・復活」民謡教室	民謡
山口市	京枝会	舞踊
	仁保長寿会	日本舞踊
	老連リホームクラブ	シニアリフォームファッションショー
防府市	都山流尺八楽範山会	箏、尺八による演奏
下松市	コーラスひまわり	コーラス
	すみれフォークダンス	レクダンス ほか
光市	マジシャン "Mr. Joker Hide"	マジック
周南市	アポロ ハワイアンズ	スチールギター中心のバンド演奏
	グレーハーモニー	コーラス
	コール永源	コーラス
	周南市老連 女性委員会	民謡フォークダンス
	フォーク ゆめ風車	フォークダンス レクダンス
県老連	YOB（県老連 女性委員会）	いきいきクラブ体操

◇展示ブース◇

写真26点、下松市老連は「市老連運動会」など活動写真と地域に伝わる伝統工芸の竹細工、宇部市老連は地区老連の活動写真を作品として展示しました。作品を鑑賞された方から「躍動感のある作品など、

素晴らしい。」「老連の活動が見られてよかった。」「緻密な伝統工芸に関心した。」「などの声をいただきました。



◇心をこめた手作りの「おもてなし」◇

来場者の皆様に喜んでもらえるようにと、県老連女性委員会は市町の女性委員有志とともに、「おもてなし」の心をこめて「帽子のマスコット」350個を手作りし、会場で配りました。



◇運営ボランティアスタッフの活躍◇

下松市老人クラブ連合会の皆様はステージの準備、駐車場での誘導やステージ運営など、おいでませ！シニア隊の皆様はパンフレット配布や受付、ステージ運営などボランティアスタッフとして御活躍いただきました。

◇次回開催は…◇

平成30年度ねんりんピック山口2018「文化活動交流会in萩」は、平成30年10月20日（土）に萩市民館で開催します。

みなさまの御来場を心よりお待ちしております。

平成29年度 シニア活躍！ 地域支援担い手育成事業 実践モデルクラブの活動紹介

～これまでの老人クラブ活動を新地域支援事業に活かそう～

地域支援担い手育成事業では、老人クラブがこれまで取り組んできた友愛活動を活かして、新地域支援事業で求められている※**介護予防・生活支援サービスの担い手**として、老人クラブが参画することを目指しています。

今回は、平成29年度にモデル指定した5地区の取組のうち、2地区の取組を御紹介します。

※新地域支援事業で求められる「介護予防・生活支援サービス」の具体例
「多様な通いの場」

●交流サロン・喫茶室 ●趣味サークル ●健康教室 ●介護予防教室 など

「多様な生活支援」

●声かけ ●安否確認（電話訪問） ●見守り ●話し相手 ●付添い（通院・買物・墓参・サロンやクラブ活動場所などへの同行）
●軽作業（電球・電池交換、重量物や高所物の移動、雑草刈り、簡単な家の補修 など） ●家事手伝い（掃除、窓拭き、ごみ出し、布団干し など） ●買い物や諸手続き代行 ●配食 など

萩市老人クラブ連合会

佐々並寿クラブ（会員数124人）

困っている方へのおたすけマン！
「おたすけクラブ」の取組

《おたすけクラブの活動内容》

A 実施体制

佐々並地区で生活する人が、毎日の生活の中で、ちょっとした困りごとや手助けが必要なきに、佐々並寿クラブ会員が「おてご（お手伝い）する人」となり、手助けに行く活動を実施している。

おたすけクラブの活動は、30分500円としており、家事（ごみの搬出、窓拭きなど）や外・力仕事（草刈り、食器棚の移動など）のおてごを行っている。

なお、手助けの対象者は、佐々並寿クラブ会員限定としておらず、佐々並地区全体を対象としている。

B メンバー

佐々並寿クラブ会員の有志（15人）を「おてごする人」として登録している。

また、会員以外でも、住民有志のボランティア（2人）を「おてごする人」として登録して

いる。

C 実施方法

- ① 手助けが必要な人がおたすけクラブ事務局（地区社会福祉協議会）へ相談する。
- ② 佐々並寿クラブ会員が事前に現地に下見に行き、相談者と面接。場所・時間の確認。
- ③ 佐々並寿クラブ会員がおたすけクラブ事務局へ②の状況を報告。
- ④ 現地にて佐々並寿クラブ会員が作業を実施。
- ⑤ 作業後、実施内容をおたすけクラブ事務局へ報告し、おたすけクラブ事務局より利用料の徴収を行う。
- ⑥ 佐々並寿クラブ会員（作業した方）へ利用料を手渡す。

D 頻度・実績

随時おたすけクラブ事務局にて受付を行っている。

平成29年度実績（1月時点）…21件（草刈り、窓拭き、網戸張替え、ごみ搬出など）

《活動を振り返った成果》

- (1) 佐々並地区の生活の中で困っているけど、解決できそうにないこと（既存のサービスでは対応できないこと）を、把握できたこと
- (2) 把握できたことに、手をかけてやるぞ！という声が出てきたこと



おたすけ活動の様子

(3) 手をかしてやるぞ！という人が何人もいてくれたこと

(4) 住民参加型在宅福祉サービスの一つとして、「おたすけクラブ」を無理なく結成できたこと。おたすけクラブの取組は新地域支援事業として実施しています。困っている人も手助けする人も双方のメリットがあること

(5) 困ったことは、相談し、みんなで考え、話し合いで解決していくという体制があること
これら、一連の流れは、「一人の困りごとをなんとかしよう！」という想いがあったから進んでこれたのではないかと思う。

宇部市老人クラブ連合会

小羽山第二親寿会（会員数76人）

週に2回実施！誰もが気軽に集えるサロン「どんぐり山」の開催

《活動の具体的内容》

週2回、小羽山4区集会所にて地域住民の介護予防・健康づくりを目的に「どんぐり山の会（近所サロン）」を開催している。

サロンの運営や企画は、6人のスタッフが行っており、内4人が小羽山第二親寿会の会員、2人が会員以外となっている。

脳トレ、健康体操、ヨガ及びストレッチなど、様々なプログラムを実施しており、内容にもよるが、1回の参加者はおよそ20人。親寿会の会員に限らず、誰でも参加可能としている。

《活動を振り返っての成果》

参加者同士の顔なじみの関係性。また、様々なプログラムを導入することで、いつも来るわけではないがこのプログラムには参加する、という人もいる。そういう幅がひろいサロンであると思う。



人気のゲームで盛り上がります

残りの3地区の取組については、次号で紹介する予定にしています。

なお、各実践モデルクラブの取組は県老連作成の「老人クラブが取り組む地域支援活動事例集」にまとめてあります。モデルクラブの取組についても詳しくお知らせになりたい方は、県老連事務局に問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

仲間と絆を深め地域で活躍！

シニア社会貢献活動推進事業 モデル老人クラブの実践報告

子供たちを育む心豊かな地域のために、老人クラブが貢献しています。

シニア社会貢献活動推進事業は、平成27年10月に行われた「ねんりんピック山口大会」を契機とする、高齢者のスポーツ文化活動への関心や社会参加意識の高まりを継承・発展させるため、老人クラブを中心とする地域の高齢者の知識・経験・活力を生かす場づくり、機会づくりを広げるとともに、地域における社会貢献活動や世代間交流の取組をより一層推進することを目的として実施するものです。

今回は、本事業で平成29年度にモデル指定した4地区の取組のうち、2地区の取組を御紹介します。

①岩国市老人クラブ連合会

本郷支部 波野白峯会（会員数26人）

具体的な活動内容

休校マルシェ@奥岩国ほんとう

*日時／平成29年11月18日(土) 10:00～15:00

*場所／旧波野小学校

*内容／休校となつてゐる波野小学校校舎を活用し、広島県・山口県内からの集客を図り、本郷町の良さを各イベントブースを通してアピールするとともに、本郷町の活性化並びに文化伝承をねらいとして実施した。

イベントブース内容

- 1 骨董フリーマーケット
（再利用可能な農機具、家具、着物等の販売）
- 2 竹おもちゃ作り
（文化伝承として、子どもに竹とんぼ等の工作体験を行う）
- 3 レンタサイクル
（商工会と協同し、本郷町内の観光スポットや特産品に触れる）
- 4 食のブース
（本郷産の野菜の販売、本郷産米・野菜を用いたカレーを低価格で販売）
- 5 託児のブース
（本郷町の母子保健推進員が参加者の未就学児を見守り、3世代交流を図る）

*当日来客数／200人程

本イベントの企画・運営等を行なう実行委員会の委員長として、波野白峯会（単位クラブ）の会長が着任。

平成23年に休校となつた波野小学校の管理（花壇の整備や校舎内の掃除等）を波野白峯会が行なっていることもあり、会長指揮の下、イベントの準備・企画・運営から後片付けまで多くの老人クラブ会員が協力した。

活動を振り返つての成果

*会員の中で、今まで老人クラブ活動に参加しなかった人が、今回のイベント活動には参加してくれた。また、「足が悪いけど、行くだけに行く」と言つて、会場の掃除や草取り、片付け等を手伝つてくれる会員もいた。



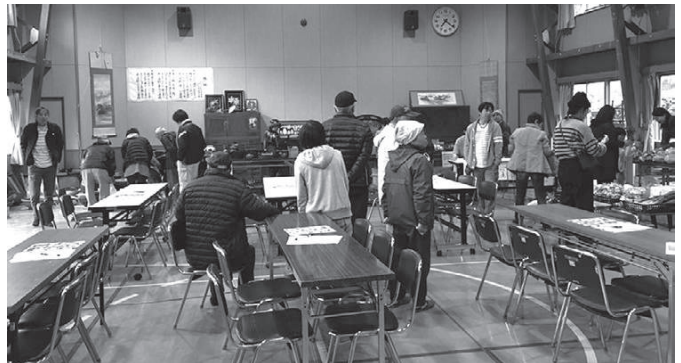
託児のブースの様子

* 今回のイベントが、会員が主体的に活動に参加するひとつのきっかけになったことは老人クラブにとって大変良かったのではないかと思います。波野白峯会が主体となり、年に1回波野地区の運動会を実施している。また、自治会の集まりで「老人クラブはこんな活動をしている」というこ

とをまとめて出している。そうした取組の積み重ねがあつてか、地域で「老人クラブの活動を手伝つてくれる、応援してくれる人」が増えてきたように感じる。

☪ 今回のイベントの開催も含めて、ずっと

やってきた活動の積み上げが地域での老人クラブの存在感につながっていくんだと思う。



多くの来場者があり、各ブース大盛り上がりでした！

②周南市老人クラブ連合会

上下菊寿会連合会（会員数205人）

学校での具体的な活動内容

【従来からの主な取組】

* 菊川小学校2年生・菊川幼稚園「ふれあい会」（6月）
10月芋植付・芋ほり

☪ 芋600本を植えて、収穫まで行なっている。子どもたちには1人2kg芋を持って帰ってもらっている。

最近では、児童が「感謝の会」を催してくれる。収穫した芋を材料に子どもの発想ならではの楽しいメニュー（芋チヨコなど）を作ってくれた。

* 菊川中学校1年生「地域学習」（7～10月）

☪ 生徒と一緒に昔のお菓子づくりや昔のおもちやづくりを10年くらい前から継続して行なっている。その際、クラブ会員による手品がとても好評で、必ず地域学習の導入で行なっている。

* 菊川小学校1・3年生「昔の遊び・羽釜でご飯他」

☪ 菊川応援団（学校支援ボランティア団体）の登録
☪ 老人クラブ会員は、主になかよしクラブ（知的障がい子どもたちへの道徳教育）の活動を行なっている。子どもたちから学ぶこともある。また、平日頃より登下校の見守り、校庭中庭の花壇整理、区域内の史跡巡り等々の活動も行なっている。

今回の事業での取組

三世代交流事業（芋ほり体験交流会）

* 日時／平成29年10月28日（土） 10:00～14:00

* 場所／向道湖福祉農園

* 参加者／菊川小学校生徒、保護者、校長、菊小CS委員、上下菊寿連合会、市老連関係者
他計72人

* 内容／向道湖福祉農園で栽培している「さつま芋」の収穫を菊川小1年生～6年生に体験してもらうとともに、収穫した芋を使用した「焼き芋」や「焼きそば」「羽釜でご飯」等の料理体験を行い、『生徒・保護者・高齢者』の三世代交流を図った。

活動を振り返っての成果

* 絆・信頼・思いやりと、次世代リーダーの期待等々非常に素晴らしいものを得ることができた。



3世代交流芋掘り大会 10月28日

* 交流会当日は、台風22号の影響もあり、祈りもむなしく朝から雨で最悪の日になったと思つたが、結果的には「災い転じて福となす」の通り、皆の団結心がより深まり全ての段取りが順調に運び、成功裏に終えることができた。

* なにより児童が非常に喜んでくれたことが良かった。また、料理を食べた後の片付けを率先して親子で行なっており、大変感動した。

残りの2地区の取組については、次号で紹介する予定にしております。

各モデルクラブの取組は県老連作成の「老人クラブと学校（コミュニティ・スクール）の連携活動事例集」にまとめております。モデルクラブの取組についても詳しくお知りになりたい方は県老連事務局に問い合わせください。

若手リーダーの活躍が老人クラブ活性化のカギ

―「若手代表者会議」を開催しました―

これからの老人クラブ活動を担う市町老連の若手リーダーや会長等が集い、若手ならではの活動を検討し、老人クラブ活動の一層の魅力アップと情報発信を図ることを目的として、山口県老連主催の新規事業である「市町老連若手代表者会議」を開催しました。

第1回目の会議は、平成29年10月2日(月)、山口県社会福祉会館 大ホールにて開催したところ、38人の参加がありました。

会議では、まず岩国市老連の佐藤龍生氏、続いて周南市老連の長藤秀弘氏に事例発表をいただきました。どちらも県内の若手委員会の中では比較的歴史の浅い地域ですが、活動に勢いがあります。カラオケやグラウンド・



ゴルフなどの趣味活動を手掛かりとして、楽しくやりがいを持って取り組まれ、仲間も広がっている様子を丁寧に紹介されました。

これまで、こうした事例発表の場が設けられなかったこともあって、参加者からは「魅力的な活動がクラブのアピールポイントになると気づいた。」「これからの若手会員の活動に大変参考になった。」などの多くの声がありました。



岩国市老連 佐藤龍生氏による事例発表の様子

第2回の会議は4ヵ月後の平成30年2月6日

(火)に山口健康づくりセンター(山口県総合保健会館)

第1研修室にて開催しました。会議前日に大雪警報が発表され、開催も危ぶまれるほどの悪天候でしたが、第1回を上回る41人の参加がありました。

最初に、宇部市老連の末田昭男氏、山口市老連の杉謙一郎氏と河村秀夫氏から組織の構成や発足経緯などについて事例発表をいただきました。

どちらも県内では早くから若手委員会を設置して取り組まれている地域で、若手委員会の活動が市老連事業の推進や各サークルの活性化に繋がっている事例について紹介されると、会場から多くの質問が寄せられ、あつという間に終了時間を迎えました。



山口市老連杉氏、河村氏による事例発表の様子

若手は75歳まで？

「若手会員」のとりえ方では、ひとつの質問をきっかけに会場全体を巻き込む議論となりました。

宇部市では当初75歳以下という年齢制限を設けていたものの、徐々に会員全体の年齢が高くなったことから、平成25年に撤廃されたという事例から、「会員の年齢構成は地域性があるので、自由に設定して良いのではないか。」「安易に年齢制限を無くすと、若手リーダーが変わらず、次の世代が育たなくなってしまう。」「やはり基準は必要だが『概ね75歳』のように遊びを設けた方が良い。」など多くの意見がありました。

会場全体で一つの理想的な正解を導くことはできませんが、参加者それぞれの地域での若手委員会の設置や運営のヒントとなったようで、納得の笑顔が溢れました。

インフォrmation会員増強

事例発表後は、多くの市町の参加者と情報交換できるようにグループ分けをして実施しました。多くの参加者が初めて顔を合わせる中、開始3分もせずに笑い声が響き、和やかな雰囲気となりました。

カラオケやウォーキングなど、それぞれの

ようなレクリエーション活動を展開しているのか情報交換していると、自然と会員増強の効果などについても話が及びました。

グループの一つは、いきなり老人クラブへの加入を勧めるよりも、趣味や健康をテーマにした活動に誘う方が、参加する側もハードルが低くメリットも見えやすいため、いかに魅力的な活動を展開できるのが重要と結論付けました。

県老連の若手委員会設置と関係

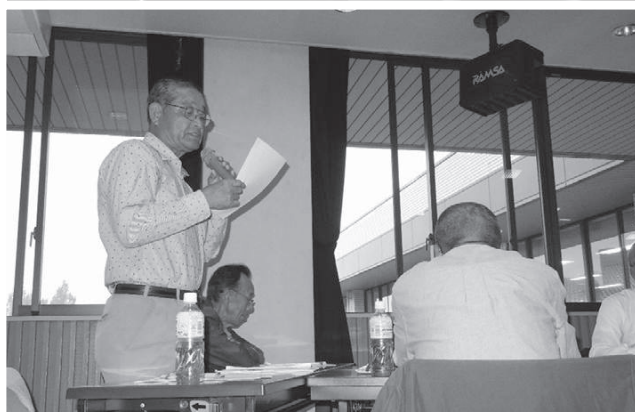
「若手委員会の設置と活性化」をテーマとした意見交換も行いました。

市町老連の若手委員会設置や活性化のほか、

県老連における若手委員会の設置について協議を行いました。

若手委員会を設置している市町老連が少ないことを指摘する声は多くあるものの、なかなか解決策が浮かばない中、「若手委員会を設置していない地域こそ、この会議に会長や役員が参加された方が、状況を共有できて良いのではないか。」という意見には会場から拍手が起りました。

本会議をきっかけとして、若手委員会の促進と県内全体の若手会員の活動活性化が期待されます。



情報交換での発表の様子

第29回老人クラブ女性リーダーセミナーに参加して

山口県老人クラブ連合会女性委員会 讃岐 智子

平成29年11月16日(木)、17日(金)に東京都で開催されました「第29回老人クラブ女性リーダーセミナー」に参加させていただきました。

◎第1日目のセミナー

★基調報告

「老人クラブ組織と発展に向けて」

(全老連事務局長 谷野香氏)
老人クラブ「100万人会員増強運動」における会員増加のポイント及び効果をあげた取組。
女性リーダーが役割を担い、クラブの解散を防ごう。

女性会員は60%、まだまだ可能性がある。女性のコミュニケーション力、声掛けでクラブのPRを、女性の情報力で会員増強運動に生かそう。

★事例発表

「役割を担って、解散クラブを防ごう！」

～単位クラブ会長の役割と後継者育成について～
○仙台市老連副会長、女性部長 久道悦子
男性会員を増やす「麻雀クラブ」(興味ある活動で居場所づくり)。

一人暮らしのための「行くところがある。会う人がいる。することがある。」という居場所づくり。

○広島市老連理事、女性委員長 木原和子

女性の単位クラブ会長を増やすための取組。
区内老連内の女性部長の同窓会を再開し、親睦を深めながら、意見交換を行い、リーダーとして幅広い知識を得てもらうこと。単位クラブの会長になってみようかという意識をもってもらえれば…。

○熊本県老連副会長、女性委員長 関 祐子

女性の単位クラブ会長を増やすための取組
各単老で女性活動を活発にして、女性を認めてもらえるよう女性が表立って手を挙げられる場づくり。

現在、女性の活躍を積極的に支援する企業が目ざされている。老人クラブの7割が女性会員です。老人クラブの多彩な活動に女性の活躍が必須です。老人クラブの活性化には女性の力を認めてもらう努力が必要。

◎第2日目のセミナー

「ワークショップ」

「気づいて つなごう！高齢者の消費者トラブル防止のために」の講義の後、住宅の点検商法(本当にその工事必要な?)の詐欺商法の寸劇を見てから、ワークショップを行いました。

トラブルに合わないためには、玄関をすぐに開けない、勧誘電話は早めにきる、その場で契約書にサインしない、トラブルにあったらクーリング・オフを活用、消費者センターへの相談等、改めて勉強になりました。

市町老連女性部との交流会を増やし、取組や活動についての情報交換を行っていけば県老連の女性委員会も活気に繋がっていくと思います。女性部一丸となって健康と笑顔でお世話をさせていただきます。今回も思います。今回はとても良いセミナーに参加させていただきありがとうございました。



【ワークショップ】

「気づいて つなごう！高齢者の消費者トラブル防止のために」

第46回全国老人クラブ大会in京都に参加して

光市 周防シニアクラブ連合会 会長 竹林 哲也

平成29年10月18日(水)・19日(木)の2日間で、第46回全国老人クラブ大会が京都市の「ロームシアター京都」で盛大に行われました。

全国から1650人の参加があり、そのうち山口県から22人に参加しました。

18日(水)の活動交流部会では

第一部会 老人クラブ活動を新地域支援事業に活かす

第二部会 組織的推進による会員増強運動の展開

第三部会 演じる活動(舞台発表)

がそれぞれの会場で行われました。

私は、第三部会「演じる活動」で参加者審査委員として参観させていただきました。

いろいろな発表があり、どれも素晴らしく心を惹かれるものばかりでしたが、特に印象に残ったのは、奈良県高取町老連慈友会と慈母園(視覚障がい者50人)との関わりです。民芸・生け花・手芸など10種類のサークル活動、これだけでも大変なのに演じられました。大岡越前の「三方一両損」劇の黒子役として、会員の皆様方の献身的な心遣いが、とても印象的でした。また、このたび、引き受けの京都府京丹後市老連による「丹後七姫物語」は小野小町、静御前など京の都の往時を思い起こすに十分過ぎるほどでした。その他のクラブも甲乙つけ難く素晴らしかったので大変勉強になりました。

19日(木)は講演・式典があり、オープニングとして、京都府八幡市老連女性部によるすばらしい手話コーラス「京のわらべ歌」で京都の町を楽しく紹介していただきました。講演後のアトラクションでの、宮津祭「浮太鼓」は子供から大人まで囃子に合わせ「打つ踊る」様は、伝統芸能の素晴らしさを顕著に表したものだと思います。

講演後、「老人クラブ活動」「社会貢献福祉活動」等において顕著な功績があった団体、個人に対して、厚生労働大臣表彰、全老連会長表彰の式典がありました。わが周防シニアクラブ連合会は優良郡市町村老人クラブ連合会表彰を受章することができました。これを励みにまた頑張っていきたいと思っています。

我々一行は、帰り際に京都御所を観光しました。ちょうど、専属のガイドさんに運よく出会い、そのまま同行して、木造建築の素晴らしさ、皇族方の居住空間の一部を垣間見ながら、広大な建物にただ茫然とするばかりでした。

全国大会に初めての参加でしたが、会場の雰囲気、傘寿、米寿越えの発表者、受章者の凛とした態度に、優れた活動をされた方はやはり若いなど感銘をつけました。市町老連の役員の方は、是非一度は、参加してほしいと思います。次回は沖縄です。

平成30年度 第47回全国老人クラブ大会 in沖縄 行程(予定)

12月3日(月)

新山口駅⇒岩国空港⇒那覇空港⇒観光⇒那覇市ホテル(泊)

12月4日(火)

ホテル⇒観光⇒全国大会参加⇒那覇市ホテル(泊)

12月5日(水)

ホテル⇒全国大会参加⇒那覇空港⇒岩国空港⇒新山口駅

沖縄大会の演じる活動に「伝統・復活」健康民謡教室(宇部市)と仁保長寿会(山口市)が参加します。

会員の皆さん一緒に沖縄に行きましょう!

【第3部会 演じる活動】



三方一両損

【アトラクション】



浮太鼓

【式典】



第23回在宅福祉を支える友愛活動セミナーに参加して

宇部市老人クラブ連合会 北迫新町やすらぎ会 会長 田中孝雄
(平成29年度 シニア活躍！地域支援担い手育成事業 実践モデルクラブ)

平成29年1月31日・2月1日、東京都の全社協議室にて、「新地域支援事業への老人クラブの参画」をテーマに第23回在宅福祉を支える友愛活動セミナーが開催され、山口県からは宇部市老人クラブ連合会 北迫新町やすらぎ会 田中孝雄会長が参加しました。

今回のセミナーは、各自治体の「新地域支援事業」に参画しているリーダーが集い、本事業への参画方法を研究、協議する内容でありました。(参加者数101人)

●事例発表 「新地域支援事業」における老人クラブの取り組み

第一事例…岩手県三戸市老人クラブ連合会会長

一本気 哲男 氏

○ 介護保険制度の改正を受けて、二戸市老連として新地域支援事業に参画するため、二戸市市長に要望書を提出。

○ その甲斐あって、二戸市から「高齢者ふれあい生活支援モデル事業」の委託を受け、補助金300,000円をいただいた。

○ 事業内容は、①会員及び地区内高齢者を対象としたサロン活動 ②会員及び地区内高齢者への定期的な声かけ。見守り訪問活動。

○ 平成29年度は市内11単位クラブが実施している。
→ モデル事業を実施したクラブからは、「会員・地

域の高齢者は喜んでサロン活動に参加している」、「補助金が出たことで開催費用や参加費の負担が軽減された、世話人の負担が減った」などの声が聞かれている、とのこと。

第二事例…埼玉県川越市老人クラブ連合会 友愛推進委員会

委員長 小松 松十郎 氏
理事 石田 憲治 氏

○ 新地域支援事業に参加することの意義は、①今までの老人クラブ活動を生かして行える、②行政や地域関係団体に老人クラブを知ってもらえる、③地域のつながりを作る取組は老人クラブ活性化につながる、こと。

○ 平成29年度から行政の協議体(会議名…実務担当者会議)に参画することになったが、はじめは行政のどの部所が新地域支援事業の担当課か分からなかった。

○ 市老連の取組として、会員のみを対象として「友愛実践活動モデル」(県老連委託)を実施。具体的には老人クラブがやってきた友愛活動(見守り支援、生活支援、サロン活動)の市内全域への普及。

○ 友愛活動の市内全域への普及は反発も少なくなく、大変であるが、友愛推進委員会で粘り強く説得し、各単位クラブで友愛活動を本格実施していく流れができている。

●講演 一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会

服部 真治 氏

○ 高齢化は良いことである。医療の先進化、努力して

きた結果。高齢者を支える下の世代が少なすぎるのが問題(少子化、出生率1.4)

○ 今の70歳代前半の体力・運動能力は、14年前の60歳代後半と同じという調査結果がある。(この結果を基に老年学会では、高齢者を65歳ではなく、もっと年齢を引き上げては、と提案した)

○ 高齢者を助け合い活動の支え手に、という国がすすめている取組は、高齢者自身のメリット(介護予防)が科学的に立証されている点や「ふつつの幸せ」に住み慣れた家、地域で、安心して暮らし続けられること、を地域に暮らす住民自らがお互いの気持ちで培っていくことを期待するものである。

●分散会(グループワーク)

参加者を5人の17グループに分散し、各老連の取り組みに関しての情報交換を行った。

我々のグループは山形県、富山県、大分県、愛知県、山口県の5人でそれぞれの活動の情報交換を行なった。各県ではサロンを中心とした友愛活動は行なっているものの、新地域支援事業として進めているところはなく、新年度から組織づくり等からスタートする段階であった。他の地域も全国的には同じようなレベルのところが大半の状況と見受けられた。

全ての日程が終了し、閉会挨拶にて全国老人クラブ連合会 齋藤秀樹常務理事から「新地域支援事業に焦って取り組む必要はない。地道に地域で汗をかきながら取り組んでいくこと。自分がもし動けなくなったときに、どんな地域であってほしいか、そういう思いで取り組んでほしい。」と期待を述べられました。

今回のセミナーを受講し、全国の仲間との交流など非常に有意義であったと感謝いたします。年に1回程度は地方の役員も参加できるようなチャンスや予算措置をいただくことも、リーダー等の担い手づくりとして有効な手段であろうと考えます。

友愛活動を支え健康寿命を延ばす

柳井市老連は昭和38年4月に設立され約50年を経過しており、会員減少などにより活動転機の時期にさしかかっています。

そんな状況の中、老人クラブを第2の人生の活躍の場とし、「のばそう健康寿命！担おう地域づくり！」をスローガンに掲げて高齢者に魅力あるクラブにすべく、会長以下、理事（13人）事務局（2人）女性部3役で一致協力し市老連の活動を盛り上げるべく頑張っています。

市老連の活動は市内37クラブの会員をまとめて活動を活発に行い、会員の親睦を深め連携を良くし、友愛活動で、健康寿命を延ばして明るく楽しく活動し、市老連活動の目的を達成しようと思っています。

◇主な活動・特色ある活動◇

活動は大（50～250人）小（5～15人）事業を合わせて月平均6事業を行っており、主たる活動は次のとおりです。

健康増進活動

10月	柳井市高齢スポーツ大会	235人
4月・11月	グラウンド・ゴルフ大会	80人
5月・11月	ペタンク大会	60人
会員の親睦・連携強化活動		
6月	柳井市高齢者ふれあい大会	250人

社会貢献活動

6月・11月	研修旅行	50～100人
12月	年末交歓会	90人
1月	新年互礼会	50人
9月	社会奉仕の日	
年2回	柳井警察署へ交通安全マスコットの贈呈	5人
11月	伊保庄園訪問演芸会	15人

会員増強活動

PRボード展示（ないまつり、ボランティアまつり）年3回 単位クラブへ活動PR紙を配布
年2回 単位クラブの活動プレゼンによる水平展開…40人

単位クラブの特色ある活動

3世代交流会…注連飾りづくり、地区運動会、ボウリング、イモ掘り等
趣味の会…生け花教室、演芸・音楽クラブ、フォークダンス、料理教室
スポーツ活動…グラウンド・ゴルフ、ペタンク、ウォーキング
利益を上げ活動資金とする…野菜をつくって道の駅での販売、段ボールなど収集



料理教室



研修旅行



しめ縄づくり



スポーツ大会

今後の課題は

力

全国的にも高齢化率が進んでおり、当市においても37.42%と高く約4人に1人が高齢者という状況です。市老連も平成29年度に会員の減少率が止りつつありますが、単位クラブの会員勧誘において、60歳から70歳の若手の方のクラブへの関心が薄く、また、働かなければならない事情もあり苦労があります。しかし、会員の増強のためには粘り強く勧誘するほか道はなく、市老連としても協力し下支えしていくつもりです。

柳井市老人クラブ連合会

★所在地
柳井市古市3781

★会員数
1217人

★単位クラブ
37クラブ

★老連設立（発足）年月日
昭和38年4月1日

★高齢化率 37.42%

★会長 折中 光雄

サロン紹介

岩国市玖珂支部 城山クラブ内 「大田福寿会いきいきサロン」

(大田地区高齢者の会)

- 活動開始年月／平成22年4月
- 参加場所／大田コミュニティセンター
- 参加費／300円
- サロン参加数／22人
- サロン活動数／年4回
- 活動時間／午前10時から午後2時まで
- 代表者／山本茂雄

岩国市玖珂支部には9単位の老人クラブがあります。その中の城山クラブは(会長…山本茂雄)会員57人(男性13人 女性44人)で瀬田下地区、瀬田上地区、大田・台橋地区の3地区から成り立っています。「大田福寿会いきいきサロン」は城山クラブの中の大田地区の会員22人(男性6人 女性16人)で、山本会長が定年退職後に老人クラブに入会し、民生委員をしていた田村体育委員と一緒に高齢者が健康で幸せな長寿を迎えるために、会員相互が、話し合い、助け合って、社会に貢献することを目的に立ち上げました。

サロンは年4回ですが、健康維持活動で行っている、グラウンド・ゴルフは毎週水曜日と土曜日、太極拳は毎月第1、第3土曜日に開催し

ています。

また、歌の会として、カラオケを毎月第1、第3火曜日に開催しています。常に5～10人の参加者がいます。

サロンは、病院に行く人たちのことも考えて、日曜日に開催することが多くなりました。

サロンでは、健康についての講話を聴いたり、認知症予防の体操をしたり、時には腹話術の方に来ていただき、楽しい時間を過ごしています。

お昼は参加者全員で会食をして、午後は、皆で参加するはずなしのビンゴゲーム、輪投げ、スカット・ボール等をして楽しんでいます。9月に行われるスポーツ大会には、スポーツの苦手な人でも参加できる、輪投げをプログラムに導入しました。参加者全員で楽しむために只今

特訓中です。

サロン開始前には、会長から災害についての心得、詐欺にあわないようにとのお話があり、情報提供、情報交換の場になっています。

「近所でも、普段なかなか会えないけど、ここ来ると皆さんに会えて楽しく、元気をもらえる」とのこと…会員の自主性に任せており、楽しい時間が過ぎたら自由に解散しています。

サロンのご案内は会長が作成し、大田地区の高齢者に配布し、会員、非会員に関わらず参加を呼びかけています。

これからの課題は、若手リーダーと協力者の育成です。

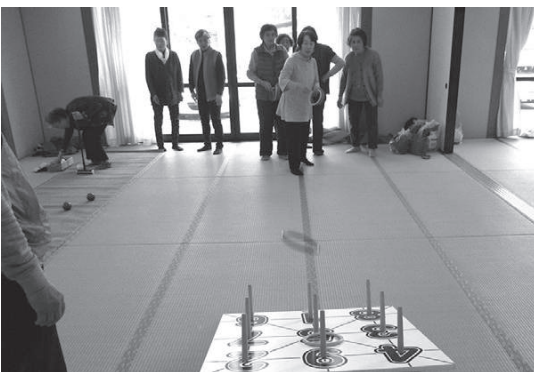
担い手を作っていくかなくてはと思っています。



認知症予防講座



腹話術



輪投げ特訓中

平成
30年度

一般財団法人山口県老人クラブ連合会 事業計画概要

高齢者が高齢者を支える地域（まち）づくりをめざして

重点事業

1 「山口県1万人会員増強運動」の推進と老人クラブ活動の活性化促進

5か年計画の最終を迎える「山口県1万人会員増強運動」について、会員一人一人がそれぞれの立場で運動を推進するとともに、老人クラブ活動の魅力を地域に積極的に発信する。

(1) 重点目標の推進

- ア 解散クラブ防止に向けて、組織内連携の強化を図る。
- イ 未結成地域への新規クラブ創設、休会クラブの復活（再開）への取組
- ウ 単位クラブでの2人以上の会員増に向けた会員全体での加入声かけ運動の推進
- (2) 老人クラブ活動の積極的なPRの展開

2 シニア活躍！地域支援担い手育成事業の実施【県委託事業】及び新地域支援事業への参画推進

これまで老人クラブが取り組んできた友愛活動や健康づくりの経験を活かして、新地域支援事業への参画に向けた担い手の育成とモデル地区の指定による生活支援、介護予防活動の実践強化を図る。

- (1) 地域支援事業専門推進員（県老連）の配置
- (2) 実践モデル地区（3地区）の指定
- ア 実践モデル地区での担い手育成
- イ 生活支援・介護予防の取組実践

(3) 先進地事例の視察

- (4) 活動推進リーダー養成講習（県内3地区）の開催
- (5) 活動推進リーダーの養成（県内全19市町）
- (6) 実践活動報告会の開催
- (7) 実践活動報告書の作成

③ 生きがいづくりコーディネーターの育成【共同募金事業】

定年前の勤労者に対して地域支援活動への参加を促進するため、平成29年度に設置した「高齢者の地域支援活動を促進するための調査研究委員会」で研修プログラムを開発し、研修を実施する。

- (1) 調査研究委員会の開催
- (2) 地域支援活動に関する意識調査の分析
- (3) 研修プログラムの開発・見直し
- (4) 生きがいづくりコーディネーターの養成（県内全19市町）

④ 各市町老連女性委員会の活性化

魅力ある老人クラブづくりを進めるため、各市町老連女性委員会の連携強化を図るとともに、広く地域の高齢者とともに健康づくり・介護予防活動の推進を図る。

- (1) 健康づくり・介護予防の輪を広げるセミナーの開催
- (2) いきいきクラブ体操の普及啓発
- (3) マスコット作成に係るレシピ冊子の作成

5 山口県老人クラブ連合会若手委員会の組織化

これからの老人クラブ活動を担う若手リーダーを発掘、養成するとともに、若手ならではの活動を検討し、老人クラブ活動のより一層の魅力アップと発信を図ることを目的として、県老連若手委員会を組織化する。

- (1) 県老連若手委員会の設置に向けた取組
- (2) 市町老連の若手委員会設置への支援

主要事業

- 1 老人クラブ組織間の連携強化に関する事業
- 2 健康づくり・介護予防活動の推進に関する事業
- 3 友愛活動の推進に関する事業
- 4 地域貢献、安心・安全な地域づくりの推進に関する事業
- 5 生きがいづくり、世代間交流の推進に関する事業

- (1) ねんりんピック山口2018（山口県健康福祉祭）文化活動交流会in萩の開催

平成30年10月20日（土）萩市・萩市民館

6 調査研究、広報、普及啓発に関する事業

7 政策提言・要望活動に関する事業

- (1) 第68回山口県総合社会福祉大会部会報告
- (2) 自由民主党山口県支部連合会政策聴聞会
- (3) 山口県知事要望
- (新) (4) 山口県市長会・町村会要望
- (5) その他、必要に応じた緊急要望等の実施

一般財団法人山口県老人クラブ連合会 平成30年度 収支予算書
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

勘定科目	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入	17	61	△44	
基本財産利息収入	17	61	△44	
(2) 特定資産運用収入	1,115,000	1,084,000	31,000	
特定資産利息収入	1,115,000	1,084,000	31,000	シルバー基金利子収入
(3) 参加費収入	50,000	50,000	0	
参加費収入	50,000	50,000	0	研修会等参加費
(4) 会費収入	5,291,200	5,520,300	△229,100	
会費収入	5,291,200	5,520,300	△229,100	100円×52,912人
(5) 事業収入	180,000	200,000	△20,000	
事業収入	180,000	200,000	△20,000	傷害保険広告料、図書等幹旋手数料等
(6) 助成金収入	15,000	15,000	0	
会員章拠金収入	15,000	15,000	0	
(7) 補助金等収入	14,967,000	15,406,000	△439,000	
事業運営費補助金収入	1,166,000	878,000	288,000	
活動推進員設置補助金収入	3,902,000	4,068,000	△166,000	
高齢者相互支援推進啓発補助金収入	0	80,000	△80,000	
文化活動交流会開催事業補助金収入	1,062,000	1,461,000	△399,000	
シニア社会貢献活動推進事業補助金収入	453,000	535,000	△82,000	
地域支援担い手育成事業受託金収入	8,384,000	8,384,000	0	
(8) 共同募金配分金収入	1,120,000	1,200,000	△80,000	
共同募金配分金収入	1,120,000	1,200,000	△80,000	
(9) 寄附金収入	1,000	1,000	0	
寄附金収入	1,000	1,000	0	
(10) 雑収入	1,380	1,380	0	
受取利息収入	380	380	0	
雑収入	1,000	1,000	0	
事業活動収入計	22,740,597	23,477,741	△737,144	
2 事業活動支出				
(1) 事業費支出	18,708,424	18,930,306	△221,882	
賃金	474,480	474,480	0	
会議費支出	98,350	108,600	△10,250	
旅費交通費支出	2,702,340	2,145,540	556,800	
委員等報酬支出	110,400	110,400	0	
通信運搬費支出	377,636	441,650	△64,014	
消耗品費支出	170,166	174,712	△4,546	
印刷製本費支出	1,441,165	1,704,891	△263,726	
賃借料支出	620,430	786,050	△165,620	
保険料支出	30,000	30,000	0	
諸謝金支出	865,800	985,800	△120,000	
負担金支出	9,491,085	9,519,491	△28,406	
助成金支出	1,450,000	1,500,000	△50,000	
業務委託費支出	561,500	631,500	△70,000	
手数料支出	13,392	14,472	△1,080	
広告宣伝費支出	40,000	38,880	1,120	
租税公課支出	10,000	10,000	0	
表彰弔慰費支出	226,840	226,840	0	
雑支出	24,840	27,000	△2,160	
(2) 管理費支出(法人支出)	3,825,994	3,825,994	0	
会議費支出	13,650	13,650	0	
旅費交通費支出	304,000	304,000	0	
通信運搬費支出	35,424	35,424	0	
消耗品費支出	50,000	50,000	0	
印刷製本費支出	116,160	116,160	0	
賃借料支出	215,800	215,800	0	
諸謝金支出	0	0	0	
租税公課支出	129,600	129,600	0	
負担金支出	2,851,200	2,851,200	0	
業務委託費支出	103,680	103,680	0	
手数料支出	6,480	6,480	0	
雑支出	0	0	0	
事業活動支出計	22,534,418	22,756,300	△221,882	
事業活動収支差額	206,179	721,441	△515,262	
II 投資活動収支の部	0	0	0	
1 投資活動収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2 投資活動支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部	0	0	0	
1 財務活動収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	206,179	721,441	△515,262	
前期繰越収支差額	1,182,624	0	1,182,624	
次期繰越収支差額	1,388,803	721,441	667,362	

老人クラブ 3つの保険〈掛金・補償内容〉

傷 害 保 険

自分がケガをした時の保険です。病気および他人に与えたケガは対象外です。

- ① 対 象：老人クラブ会員に限ります。年齢制限はなく、いつでも加入できます。(1人1口加入)
ただし、加入手続きは所属老人クラブの保険担当者が取りまとめる団体傷害保険です。
- ② 保険期間：掛金払込日の翌月1日から1年間
- ③ 補償範囲・掛金タイプ
「24時間型(掛金3タイプ)」と「活動型(掛金3タイプ)」の6タイプから選択してください。

1 24時間型						
〈クラブ活動中・クラブ活動中以外を問わず日常生活全般(24時間)のケガを補償します。〉						
① クラブ活動中のケガの場合は、 白地 + 薄いグレー の合計 黒色 の保険金額が支払われます。 ② クラブ活動中以外のケガの場合は、 薄いグレー のみの保険金額が支払われます。						
年間掛金	10,000円		5,000円		3,500円	
ケガをした時の状況	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合
死亡保険金	170万円	217万円	85万円	109万円	45万円	91万円
	387万円		194万円		136万円	
(注1) 後遺障害保険金	170万円	—	85万円	—	45万円	—
	170万円		85万円		45万円	
(注2) 入院保険金日額 (1事故につき30日限度)	4,000円	2,280円	2,000円	1,140円	1,000円	950円
	6,280円		3,140円		1,950円	
通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	2,600円	1,700円	1,300円	850円	650円	600円
	4,300円		2,150円		1,250円	

※「24時間型」の職種級別A級は無職・事務職(傷害リスクの低い職業)等です。B級(傷害リスクの高い職業)については、下記をご参照ください。

ご注意

●職種級別B級に該当するおもな職種
 ・建設作業、自動車運転者、採鉱・採石作業などの傷害リスクの高い職業。
 ・上記に該当する方は、保険金額が変更になります。
 ・詳しくは取扱代理店もしくは引受保険会社にお問い合わせください。

2 活動型			
〈クラブ活動中とその往復途上(注3)のケガを補償します。〉			
① クラブ活動中のケガの場合は、下表の保険金額が支払われます。 クラブ活動中以外のケガの場合は補償されません。			
年間掛金	2,000円	1,000円	500円
ケガをした時の状況	活動中のケガの場合	活動中のケガの場合	活動中のケガの場合
死亡保険金	170万円	85万円	45万円
(注1) 後遺障害保険金	170万円	85万円	45万円
(注2) 入院保険金日額 (1事故につき30日限度)	4,000円	2,000円	1,000円
通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	2,600円	1,300円	650円

ご注意

クラブ活動とは、各クラブで予め企画、実行したものを指します。

※注1 後遺障害保険金は、クラブ活動中のケガに起因する場合のみが対象となります。(後遺障害の程度に応じて、クラブ活動中の死亡・後遺障害保険金額の4%~100%が支払われます。)
 ※注2 手術保険金のお支払額は、入院中以外(外来)は、入院保険金日額の5倍または入院中は、10倍となります。
 ※注3 往復途上とは、自宅(マンション、アパートなどの集合住宅は専用部、戸建ては敷地を含む)を出てから、活動場所までの通常経路を指します。

3 賠償責任保険

他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険。自分のケガは対象になりません。

- ① 対 象：老人クラブ(全員加入が条件となります)
- ② 保険期間：毎年10月から1年間
- ③ 掛 金：1人年額100円(最低引受保険料3,000円)
- ④ 補 償：支払限度額1億円



公益財団法人全国老人クラブ連合会 保険係

TEL.03-3597-8770 FAX.03-3597-8767

〒100-8822 東京都千代田区霞が関3丁目6-14 ミクビル1階102号

〈取扱代理店〉有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8769

〈引受幹事保険会社〉東京海上日動火災保険株式会社

※この広告は「老人クラブ団体傷害保険 総合生活保険(傷害補償)」の概要についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点がある場合には、代理店までお問い合わせください。

17-T00967 平成29年4月作成 ㊟

きららシニア山口「憩いの家」指定施設

施設名 住所・電話番号・FAX	料金(単位:円)			備考 (サービス料・税等)
	区別	休憩入浴	宿泊	
ホテルかめ福 〒753-0056 山口市湯田温泉4-5-2 電話 083-922-7000 FAX 083-922-7007	個人	2,300	10,000	サービス料込・税別 送迎…無
	団体	2,100 (16人以上)	9,000 (15人以上)	
かんぼの宿 湯田 〒753-0064 山口市神田町1-42 電話 083-922-5226 FAX 083-922-5227	個人	500	500 引き	税込 送迎…15人以上は無料 ゴールデンウィーク、盆、年末年始等は除外 「かんぼの宿利用提携カード」の提示をお願いします。
かんぼの宿 光 〒743-0005 光市室積東ノ庄31-1 電話 0833-78-1515 FAX 0833-79-1279	個人	400	500 引き	税込 日帰り宴会…500円引き 《3,800円以上のプラン利用》 入浴・施設利用…20%引き 「かんぼの宿利用提携カード」又は、県老連発行の「協 定施設利用提携カード」の提示をお願いします。(「協 定施設利用提携カード」1枚で同伴者全員可能です。)
きのえ温泉ホテル清風館 〒725-0402 広島県豊田郡大崎上島町沖浦1900 電話 0846-62-0555 FAX 0846-62-1070	個人	—	10,000	税別、入湯税150円別 休前日は、2,000円アップになります。 送迎…15人以上は無料 島内(明石・垂水・白水・天 満港の往復) 正月・ゴールデンウィーク・盆は除外 申込み時に、老人クラブ会員であることを伝えてく ださい。
	団体	—	9,000 (15人以上)	
長崎ブルースカイホテル 〒852-8007 長崎市江の浦町18-1 電話 095-861-6411 FAX 095-861-2531	個人	—	7,000	サービス料・税込 送迎…8人以上は無料 《長崎駅⇄ホテル》 送迎付プラン有 11~14人 16,500円 15~21人 15,000円 山口まで送迎付き 各種特典付きについては、お問い合わせください。
	団体	—	6,480 (8人以上)	

※料金の区分「個人」「団体」とは、老人クラブ会員です。

※「憩いの家」指定料金は、一般客の利用料金より割引になっています。

※県老連と全国のかんぼの宿で利用提携を結んでいます。「かんぼの宿利用提携カード」を提示すれば、同伴者3名様まで1泊2食以上の宿泊プラン料金から500円(税込)を割引いたします。(割引除外日及び割引対象外の宿泊プランがありますので気をつけてください。)

臨済宗天龍寺派 ようこうじ 別格地「永興寺」にお越しください

◆創建の由来

錦帯橋河畔の紅葉谷公園入口にある永興寺(ようこうじ)は、鎌倉末期禅の高僧仏国国師を開山に、大内弘幸によって創建されました。弘幸の子・弘世は、父の菩提を弔うため七堂伽藍を整備し、寺領も大きく広げていきました。同時に幕府より官寺として認められるなど、格式の高い寺として知られるようになります。



◆名勝 枯山水庭園(岩国市指定文化財)

永興寺の裏庭には、室町時代に夢窓国師が作ったとされる枯山水庭園があります。後醍醐天皇、足利尊氏の帰依により、京都に天龍寺を開いた夢窓国師は、全国に名庭園を作った禅庭の創始者としても知られています。自然の岩肌を枯れ滝に見立て、鯉の滝登りを表現した石組みなど、巧みな作庭技術が随所に見られ、現在では岩国市指定文化財(名勝)となっています。



◆境内には永代供養堂もございます



霊光殿(永代供養御位碑堂)

少子化、核家族化が進む今、家という概念から個人を尊重する世の中に変わり、先祖代々の墓地を維持するのが困難になっています。子どもに負担をかけたくないなど、様々な理由で合祀墓などを選ぶ方も増えており、その選択肢のひとつとして、寺が子孫に代わって永遠に御位牌をお祀りし供養するのが、永興寺の永代供養御位牌堂です。永代供養をお考えの方はお気軽にご見学ください。

【供養内容】 ●毎日読経 ●春・秋彼岸供養 ●年回供養
●お盆施餓鬼法要 ●命日供養(毎月)

・永代供養料: 30万円~150万円 ・管理費は一切かかりません
・宗派は問いません ・いつでもお参りいただけます

臨済宗天龍寺派
別格地

不動山

永興寺
ようこうじ

■境内墓地・ご位牌堂のお問合せ・ご相談・資料請求は

☎0827-35-5282



〒741-0081 岩国市横山 1-10-27

不動山永興寺

検索

いい日、いい仲間(とも)、いい調子!

老人クラブ

で心豊かなシニアライフ!!

健康づくり・シニアスポーツ



- 体操●体力測定
- 各種シニアスポーツなど

趣味・レクリエーション



- 文化・芸術などのサークル活動
- 旅行●親睦会など

楽しみながら
支え合う仲間がいるって
ぶちえーね!!

あなたの
「やりたい!!」が
ここにある!!



ボランティア・地域奉仕

- 美化運動、清掃
- 在宅訪問
- リサイクル運動など

- 各種講座
- 伝承活動
- 多世代との交流活動など



学習・伝承活動 世代交流

問合わせ先

切り取り

クラブ加入申込書

お近くの老人クラブへ直接届けるか、郵送又はFAXにてお申し込ください。

ふりがな		生年月日	昭和	年	月	日(歳)
氏 名	男 女	電 話				
		携帯電話				
住 所	〒		備考			